荒川区スポーツ推進プラン

《 平成 28 年度~平成 37 年度 》







平成28年4月

荒 川 区

スポーツは、心身の発達や健康の増進を図り、精神的な充足感を与えてくれるだけでなく、仲間づくりやボランティア活動など、人や地域との結びつきを強め、生甲斐づくりをサポートする役割も担っています。

また、自らプレーする以外にも観戦や応援など様々な楽しみ方や関わり方があり、スポーツを通して生み出される勇気や感動、連帯感は、人と地域を元気にする大きな力を持っています。「スポーツ」を辞書でひいてみて下さい。普段使う意味のほかに「楽しむ」という意味があることも知っておいてください。

昨今の健康志向の高まりや、4年後に控えた2020年オリンピック・パラリンピック競技大会・東京大会により、スポーツへの関心は一層強まっています。区はオリンピック・パラリンピックをスポーツ推進の好機と捉えるとともに、オリンピック・パラリンピックという世界最大のスポーツイベントの終了後も区民のスポーツ活動が活発に継続するよう、現状をしっかりと把握したうえで「荒川区スポーツ推進プラン」を策定いたしました。

荒川区では、区の将来像を「幸福実感都市 あらかわ」とし、心の豊さや人のつながりを 大切にした、区民一人ひとりが真に幸福を実感できるまちを目指しています。荒川区のスポーツ振興の目的は、スポーツを軸として、様々な力を結集し、乳幼児から高齢者まであらゆる区民の「幸福実感」を高めることにあります。

荒川区では、区民のスポーツ活動をこれまで以上に推進するため、平成26年度に「地域文化スポーツ部」を創設し、これまで教育委員会事務局に属した社会体育課を「スポーツ振興課」に改め、地域文化スポーツ部スポーツ振興課として区を挙げてスポーツの振興に取り組んでいます。

更に、平成26年度には1億円のスポーツ振興基金を創設するとともに、経済的な支援として、中学校の部活動への支援や青少年の全国大会等への参加経費の支援をはじめ、世界大会に参加するアスリート等への支援も充実しました。

こうした区の取組を更に推進し、スポーツ推進委員の方々や体育協会をはじめとするスポーツ団体、関係機関の皆様と共に手を携えて、スポーツの力で輝く荒川区を築いてまいりたいと思っています。

本プランは、スポーツに対し「する」「みる」「支える」をアプローチの視点とし、「広げる」「高める」「つなぐ」をプランの推進のキーワードに、「すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ スポーツの力を大きく育みながら スポーツで 人が まちが 未来が 輝く荒川区を創る」を基本理念に据え、区におけるスポーツの更なる推進を図るものです。

区は、本プランに掲げた施策を着実に推進し、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けた取組をさらに進めてまいりますので、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定に貴重なご意見やご提言をくださった荒川区スポーツ推進プラン 策定委員会の皆様、区議会をはじめ区民の皆様、関係機関の方々に、心から感謝を申し上 げます。

平成28年4月

荒川区長 あ 川 太一郎



目次

はじめ		
第1章	プランの策定にあたって	1
1	プランの策定と背景 (1) 荒川区が目指すスポーツの推進 (2) スポーツを取り巻く社会状況の変化	
2	プランの位置づけ・計画期間 (1) 位置づけ (2) 計画期間	
第2章	荒川区のスポーツの現状と課題 ――――――	13
1	区民のスポーツ環境(1) 区の取組み(2) スポーツ団体等(3) 大学・研究機関等(4) 民間スポーツ施設	
2	区民のスポーツ意識	
3	スポーツ推進の課題	
第3章	基本的な考え方	29
1	基本理念と基本目標 (1) 基本理念 (2) 基本目標	
2	推進のキーワードとアプローチの視点 (1) 推進のキーワード 〜広げる・高める・つなぐ〜 (2) アプローチの視点 〜する・みる・支える〜	
3	施策の体系と事業 (1) 体系図 (2) 事業	
第4章	重点プロジェクト	51
1	障がい者スポーツの推進	
2	子どもたちのスポーツ活動の充実	
3	ライフステージに応じたスポーツ習慣の定着	
4	スポーツを支える地域力の醸成	
5	スポーツ施設の整備	

第5章	重	プランの推進に向けて	61	
	1	区民・団体・事業者等との連携		
	2	推進体制の充実		
	3	プランの着実な実行		
資料	編		65	
	1	荒川区民スポーツ意識調査		
	2	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱		
	3	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿		
	4	検討経過		